



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 小林 君男
○ 編集責任者 岩本 淳一

<号外>

衆議院議員選挙

『しのはら孝』氏の必勝のために、全力で取り組もう！

安倍総理の「大義なき解散」で幕を開けた衆議院議員総選挙は、12月2日公示・12月14日投票の日程で執行されることになりました。

衆議院議員選挙に至る衆議院の解散は、安倍総理が発した「アベノミクスを前に進めるのか、止めてしまうのか、それを問う選挙をやるために解散する」「私たちの経済政策が間違っているのか・正しいのか、ほかに選択肢があるのか、国民に問いたい」として、11月21日に衆議院を解散しました。しかし、多くの国民は無論、野党や与党・自民党の中にも、「なぜ今解散するのか」との思いが錯綜する、まさに「大義なき解散」と言わざるを得ません。

また、安倍総理には「都道府県当選議員の勢力図を自民党が独占したい」との思惑も見て取れますが、問題は、この選挙に600～700億円もの血税が使われると言われていることです。組合員の皆さんはどう思いますか？

しかし、安倍総理の専権によって衆議院を解散した訳ですから、とにかくこの選挙で私たち自らが「政府の横暴は許さない！」という意思表示していかなければなりません。このまま、自民党の一人勝ちを許せば、「先ずは経済優先で、働く者を犠牲にしても世界で一番ビジネスがしやすい国」という、日本の姿が見えてくるでしょう。そんなことは断じて許せません！

連合長野は前述した状況を念頭に、今日の執行委員会でこれまで通り、労働者・生活者目線の民主党支持を確認し、長野県1区は現職の「しのはら孝」候補予定者の推薦を決定し、当地協に対して早期の選挙体制確立を指示するとともに、構成組織の総力で「しのはら孝必勝」に向けた取り組みの推進を要請しました。

高水地協は、こうした連合長野の指示・要請に基づいて、構成組合員へ長野県1区：民主党現職「しのはら孝」候補予定者の必勝に向けた支持者拡大と「投票所に行って意思表示する」という、組合員自らの投票行動をお願いするところがあります。

加えて、しのはら議員は民主党の中でも“壊れかけた党の再生に臨む”という、重要な役割を担う期待された人物でもあることから、再び民主党議員として国政の場に送らなければなりません。そのために、皆さん一人ひとりの投票に込めた意思表示となる「しのはら孝」候補予定者へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



衆議院議員候補者

『しのはら 孝』

1948年 中野市田麦生まれ
1973年 京大法学部卒業後農林省
農林省の重席で活躍
2003年 衆議院議員初当選
以降、4期連続当選
2010年 農林水産副大臣（管内閣）
2011年 民主党副幹事長

民主党長野県第1区総支部代表

地方に生きる、あなたのくらしを守ります。

民主党が大敗北した2012年末の総選挙から2年余り、師走の慌ただしい時期に政界が再び揺れ動いております。

今年1年は、予算委員として質問する機会を得、TV・ラジオを通じて私の質問をお聞きになった全国の皆様からも、励ましのメールをいただきました。

一方党内では、副幹事長として海江田・大畠体制を支えるのに尽くして参りましたし、今夏には代表選前倒し等で、揉めた折も纏めるべく汗をかき、民主党再生のため粉骨粉身からを注いで参りました。

アベノミクスに踊り、疲弊していく地方を見て見ぬふりしていた現政権も、やっとにわか仕立ての「地方創生」を看板に掲げましたが、地方の苦しみを肌で感じることでできる政治家の数は多くありません。その意味では、私に課せられた使命は重大であると、決意を新たにし全力で頑張る所存です。

しのはら^{たかし} 孝

<しのはら孝はこうしたい!!>

アベノミクスより“ナガノミクス”

一握りの勝者と大勢の敗者を生むギャンブルでしかないアベノミクスより、人々の歴史や知恵に学びながら、地域で穏やかに暮らしていける現実的な政策、ナガノミクスの実現に取り組めます。

1. 憲法9条の解釈変更、集団的自衛権の容認、際限のない特定秘密保護法など、出過ぎた趣味の政治は許しません。
2. TPPには、引き続き「断固反対」し続けます。
3. 農業者戸別所得補償の復活・拡充、農業の6次産業化を推進します。
4. 食べ物・衣料品など、生活必需品の軽減税率の導入を図ります。
5. 原発は将来ゼロに、自然エネルギーへの転換を促進します。
6. 雇用の拡大と子育て支援を充実させます。
7. 地方が自由に使える一括交付金の復活をめざします。

以上